

参考

高齢者の保健事業及び介護予防の
一体的実施に関する関連資料

(参考)長崎県と全国との対比

2018年度のNDBデータにおいて長崎県は、全国と比較してその一人当たり医療費の高さが指摘されている。特に入院での一人当たり医療費の高さが要因と指摘されている(令和2年12月4日経済財政諮問会議)。ここでは、参考数値として長崎県における2018年度NDBデータをもとに長崎県が「特に取り組むべき疾患」として掲げている分類(高血圧性疾患、糖尿病、腎不全、骨折)での全国との有病率(患者数を被保険者数で除したもの)とその指数(全国を1とした場合の長崎県の指数)を「国民健康保険及び後期高齢者医療合算分」の数値を用いて示す。

表148 長崎県 高血圧性疾患有病率(年齢調整後)

高血圧性疾患 診療種別(計) 有病率	年齢区分	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計
	男女計	0.61%	12.44%	38.45%	28.08%
	男性	0.80%	13.73%	36.58%	25.87%
女性	0.42%	11.25%	39.84%	29.87%	

表149 長崎県 高血圧性疾患:性別・年齢区分別・診療種別有病率(指数)(年齢調整後)

高血圧性疾患 入院外 有病率(指数)	性別	男女計				男性				女性			
	年齢区分	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計
	診療種別(計)	1.31	1.04	1.06	1.08	1.35	1.10	1.05	1.07	1.27	0.98	1.06	1.08
入院	1.89	1.75	2.10	2.14	1.46	1.73	2.00	2.01	2.34	1.84	2.17	2.21	
入院外	1.31	1.03	1.04	1.06	1.35	1.10	1.04	1.06	1.26	0.98	1.05	1.06	

図86 長崎県 性別年齢区分別有病率(年齢調整後)

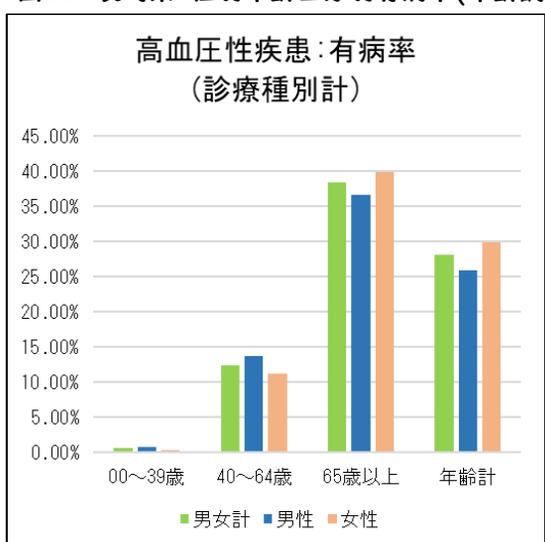


図87 長崎県 性別年齢区分別有病率(指数)(年齢調整後)(診療種別計)

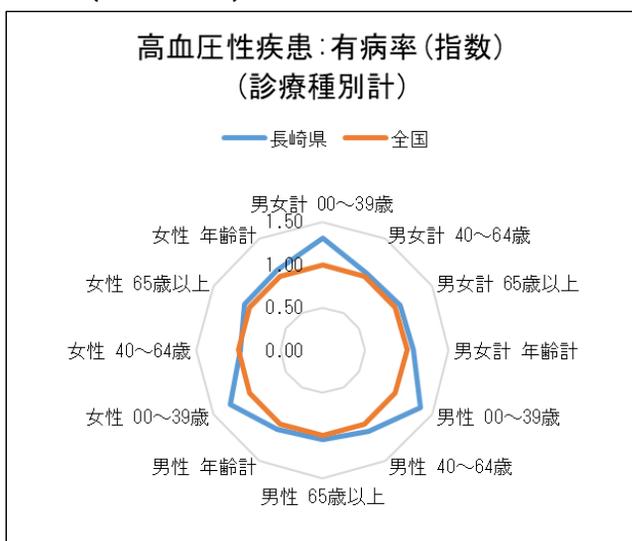


図88 長崎県 性別年齢区分別有病率(指数)(年齢調整後)(入院)

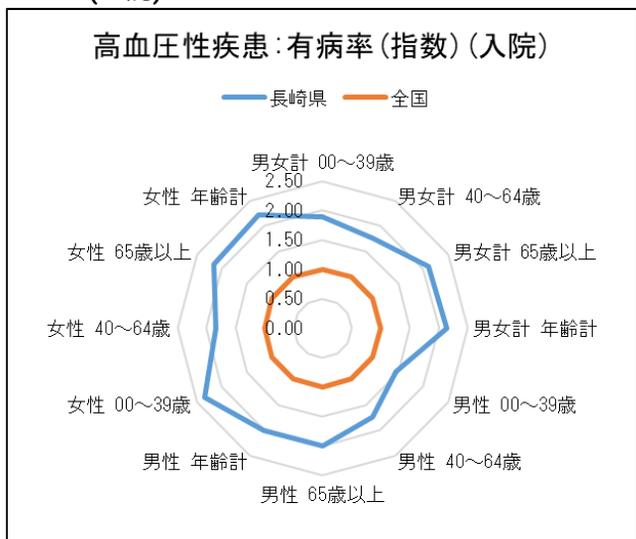


図89 長崎県 性別年齢区分別有病率(指数)(年齢調整後)(入院外)

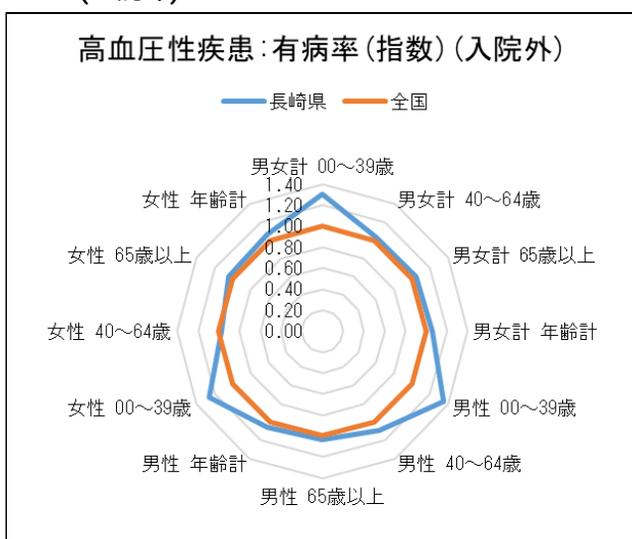


表150 長崎県 糖尿病有病率(年齢調整後)

糖尿病 診療種別 有病率	年齢区分	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計
	男女計	1.00%	5.13%	9.97%	7.78%
	男性	1.08%	6.73%	12.76%	9.59%
女性	0.91%	3.64%	7.97%	6.33%	

表151 長崎県 糖尿病:性別・年齢区分別・診療種別有病率(指数)(年齢調整後)

糖尿病 診療種別 有病率(指数)	性別	男女計				男性				女性			
	年齢区分	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計
	診療種別(計)		1.17	0.89	0.87	0.90	1.19	0.94	0.89	0.91	1.14	0.83	0.87
入院		1.58	1.14	1.26	1.27	1.54	1.17	1.25	1.26	1.65	1.14	1.28	1.30
入院外		1.15	0.88	0.85	0.88	1.18	0.93	0.87	0.90	1.12	0.82	0.84	0.86

図90 長崎県 性別年齢区分別有病率(年齢調整後)

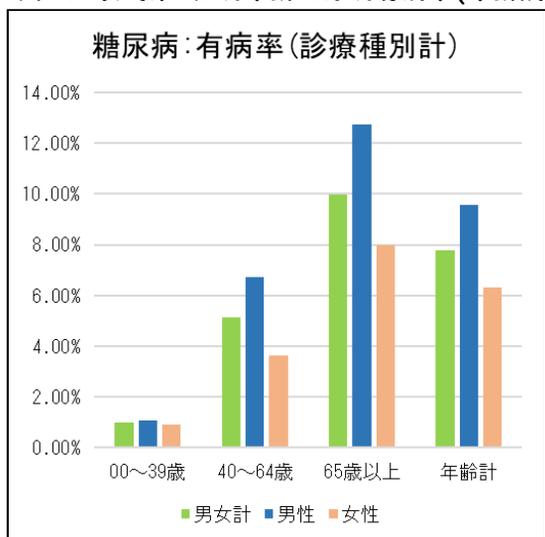


図91 長崎県 性別年齢区分別有病率(指数)(年齢調整後)(診療種別計)

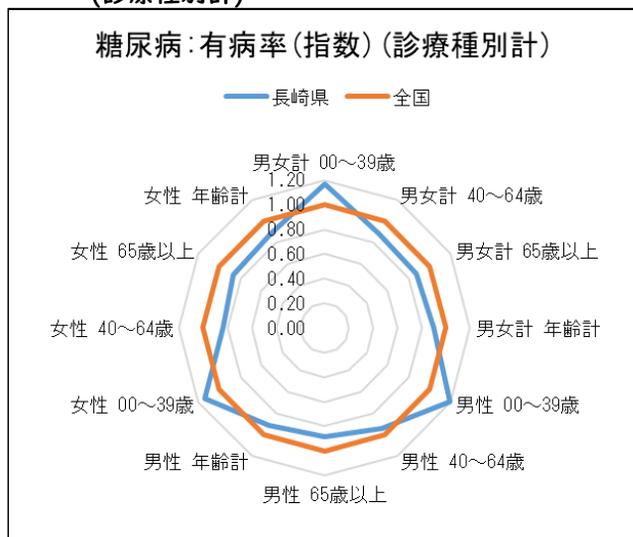


図92 長崎県 性別年齢区分別有病率(指数)(年齢調整後)(入院)

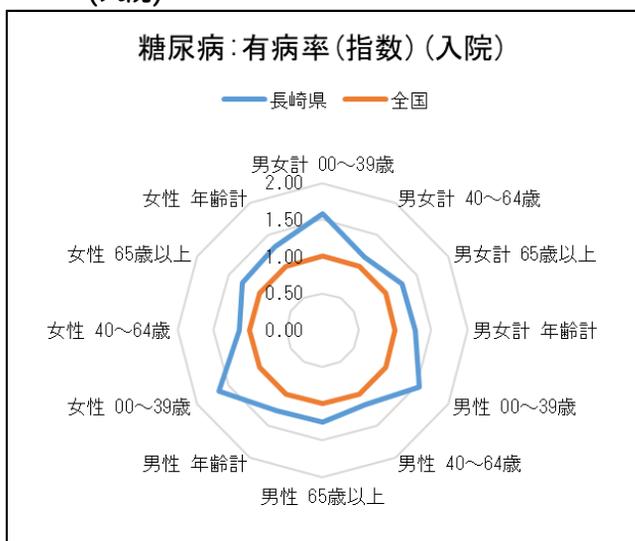


図93 長崎県 性別年齢区分別有病率(指数)(年齢調整後)(入院外)

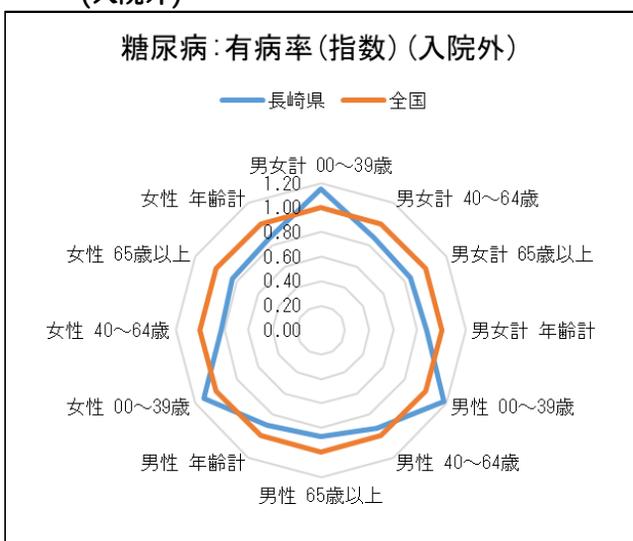


表152 長崎県 腎不全有病率(年齢調整後)

腎不全 診療種別(計) 有病率	年齢区分	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計
	男女計	0.10%	0.86%	1.82%	1.39%
	男性	0.15%	1.17%	2.48%	1.82%
	女性	0.06%	0.56%	1.33%	1.04%

表153 長崎県 腎不全:性別・年齢区分別・診療種別有病率(指数)(年齢調整後)

腎不全 診療種別 有病率(指数)	性別	男女計				男性				女性			
	年齢区分	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計
	診療種別(計)		1.23	1.04	1.11	1.13	1.45	1.05	1.07	1.09	0.88	1.07	1.20
入院		1.84	1.20	1.19	1.22	1.90	1.19	1.12	1.15	1.74	1.29	1.30	1.33
入院外		1.09	1.00	1.08	1.09	1.34	1.01	1.05	1.06	0.70	1.02	1.15	1.15

図94 長崎県 性別年齢区分別有病率(年齢調整後)

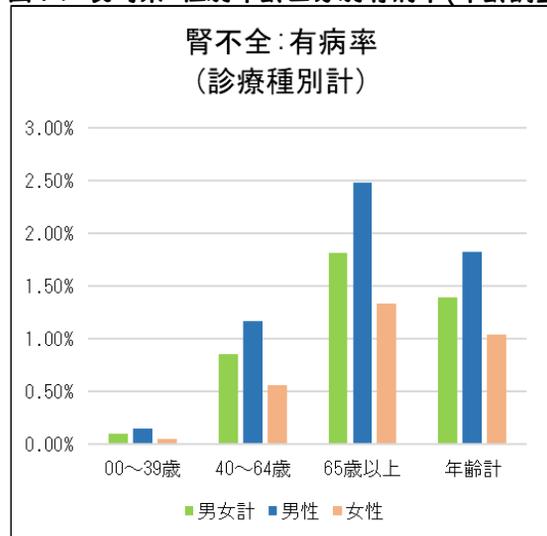


図95 長崎県 性別年齢区分別有病率(指数)(年齢調整後)(診療種別計)

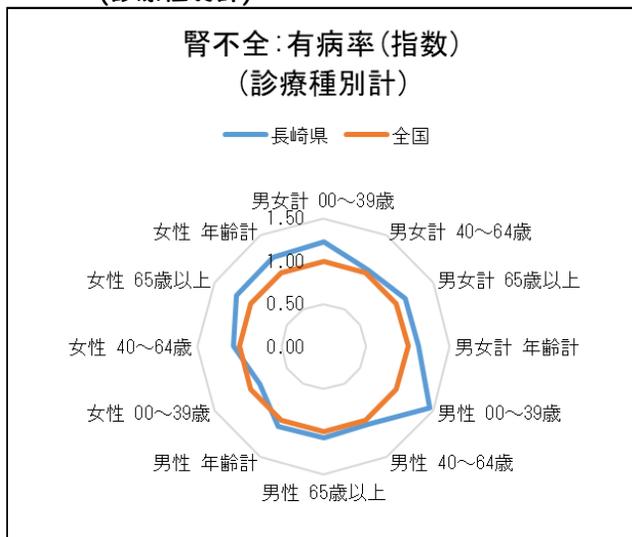


図96 長崎県 性別年齢区分別有病率(指数)(年齢調整後)(入院)

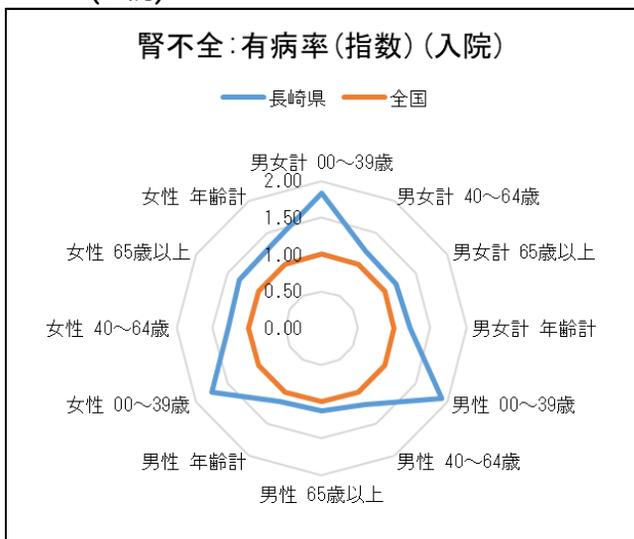


図97 長崎県 性別年齢区分別有病率(指数)(年齢調整後)(入院外)

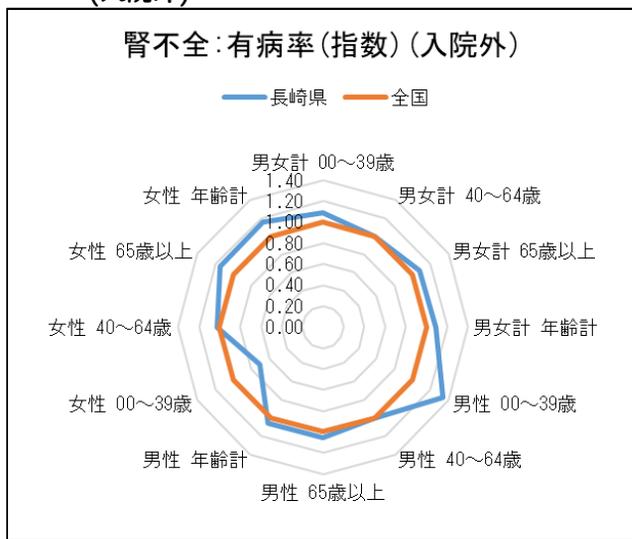


表154 長崎県 骨折有病率(年齢調整後)

骨折 診療種別 有病率	年齢区分	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計
	男女計	2.71%	2.42%	8.23%	6.31%
	男性	3.63%	2.40%	4.75%	4.05%
	女性	1.76%	2.44%	10.75%	8.14%

表155 長崎県 骨折:性別・年齢区分別・診療種別有病率(指数)(年齢調整後)

骨折 診療種別 有病率(指数)	性別	男女計				男性				女性			
	年齢区分	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計	00~39歳	40~64歳	65歳以上	年齢計
	診療種別(計)		1.22	1.04	1.20	1.20	1.29	1.16	1.22	1.22	1.10	0.93	1.19
入院		1.46	1.31	1.43	1.45	1.61	1.43	1.44	1.47	1.06	1.20	1.41	1.43
入院外		1.20	0.99	1.12	1.12	1.26	1.11	1.13	1.15	1.10	0.90	1.10	1.10

図98 長崎県 性別年齢区分別有病率(年齢調整後)

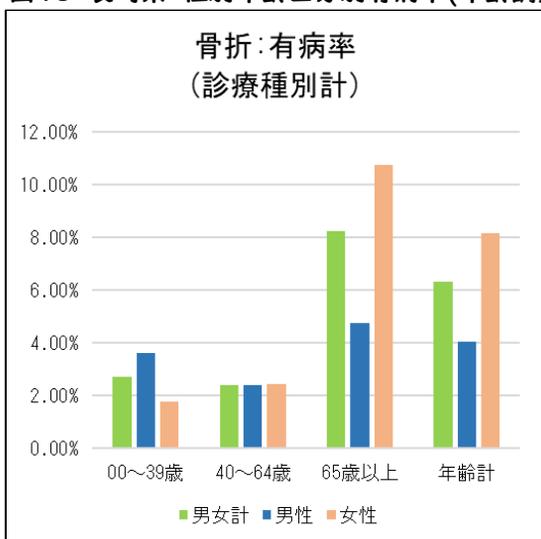


図99 長崎県 性別年齢区分別有病率(指数)(年齢調整後)(診療種別計)



図100 長崎県 性別年齢区分別有病率(指数)(年齢調整後)(入院)

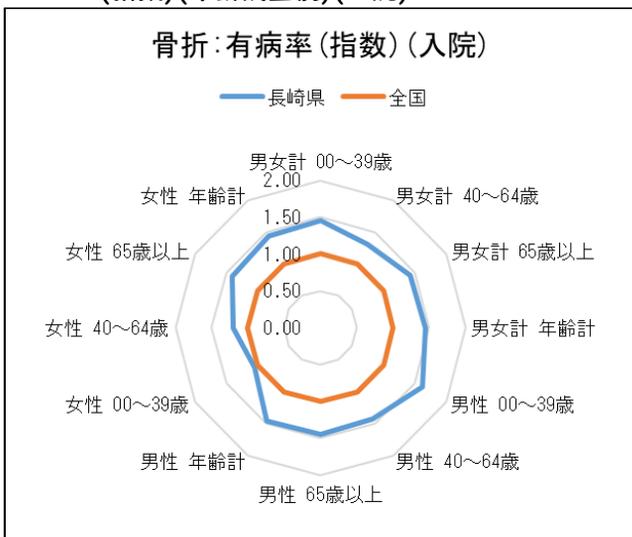
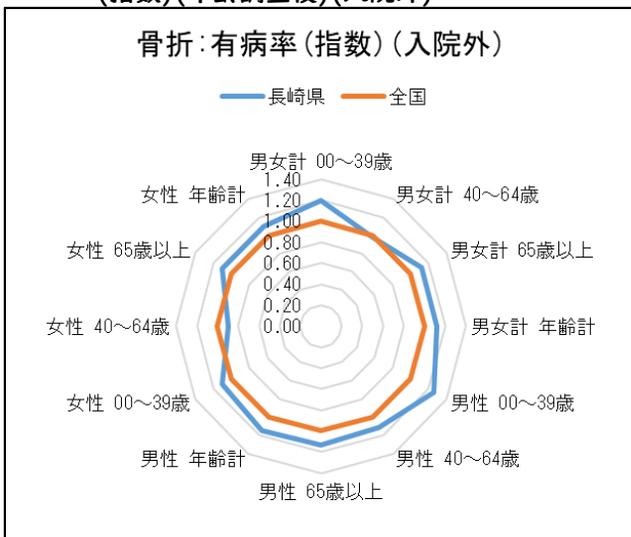


図101 長崎県 性別年齢区分別有病率(指数)(年齢調整後)(入院外)



再掲(P59):長崎県平成27~31年度中分類による疾病別医療費統計 中分類医療費増加順

表72 参考 長崎県平成27~31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類医療費増加順(65歳以上(国保・後期))

順位	疾病分類	平成27年度			平成31年度			増減				
		医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	増加率	患者数(人)	増加率	一人当たり医療費(円)
1	0903 その他の心疾患	14,029,568,805	149,811	93,648	17,407,431,589	161,841	107,559	3,377,862,784	24.1%	12,030	8.0%	13,910
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	11,204,251,940	67,603	165,736	14,111,066,452	72,718	194,046	2,906,412,583	25.9%	5,115	7.6%	28,310
3	1901 骨折	13,265,329,346	55,380	239,533	15,110,655,793	61,117	247,241	1,845,326,447	13.9%	5,737	10.4%	7,709
4	0606 その他の神経系の疾患	9,467,869,150	147,488	64,194	11,218,967,293	150,219	74,684	1,751,098,143	18.5%	2,731	1.9%	10,490
5	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,738,687,411	27,490	136,002	5,470,631,979	28,371	192,825	1,731,944,568	46.3%	881	3.2%	56,823
6	1113 その他の消化器系の疾患	11,666,460,017	218,464	53,402	12,977,711,582	224,705	57,754	1,311,251,565	11.2%	6,241	2.9%	4,352
7	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	4,739,734,056	90,376	52,445	6,001,840,683	99,346	60,414	1,262,106,627	26.6%	8,970	9.9%	7,969
8	1402 腎不全	12,558,230,841	24,947	503,396	13,790,880,829	31,759	434,235	1,232,649,988	9.8%	6,812	27.3%	-69,161
9	0402 糖尿病	8,804,866,360	146,163	60,240	9,588,227,422	160,892	59,594	783,361,062	8.9%	14,729	10.1%	-646
10	1011 その他の呼吸器系の疾患	6,493,082,155	71,039	91,402	7,093,580,862	74,316	95,462	600,498,707	9.2%	3,277	4.6%	4,050
11	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	2,288,888,720	77,197	29,650	2,874,887,569	85,098	33,783	585,998,849	25.6%	7,901	10.2%	4,133
12	1301 炎症性多発性関節障害	3,754,177,009	51,469	72,941	4,178,271,265	54,295	76,955	424,094,256	11.3%	2,826	5.5%	4,014
13	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	2,184,380,063	56,062	38,964	2,597,135,625	60,142	43,183	412,755,562	18.9%	4,080	7.3%	4,220
14	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,246,974,627	86,728	25,908	2,652,431,421	97,250	27,274	405,456,794	18.0%	10,522	12.1%	1,366
15	0603 てんかん	1,046,245,406	9,946	105,193	1,443,478,356	11,093	130,125	397,232,950	38.0%	1,147	11.5%	24,933
16	0602 アルツハイマー病	6,924,796,652	28,361	244,166	7,320,132,754	33,406	219,126	395,336,102	5.7%	5,045	17.8%	-2,940
17	0208 悪性リンパ腫	1,211,439,390	3,239	374,016	1,570,353,596	4,349	361,084	358,914,206	29.6%	1,110	34.3%	-12,933
18	0912 その他の循環器系の疾患	2,704,315,535	37,693	71,746	3,060,534,610	43,769	69,925	336,219,075	13.2%	6,076	16.1%	-1,821
19	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	1,263,212,986	6,764	186,755	1,599,983,930	7,926	201,865	336,770,944	26.7%	1,162	17.2%	15,110
20	1302 関節症	7,989,865,569	114,564	69,742	8,324,243,814	124,516	66,853	334,378,245	4.2%	9,952	8.7%	-2,889

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月~令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳~99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグループングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、合計人数は縦の合計と一致しない。

一体的実施を見据え、国保・後期合算で65歳以上の医療費増加上位を集計した。医療費増加上位では、生活習慣病関連で、1位にその他の心疾患、8位に腎不全、9位に糖尿病が入っている。新生物では、2位にその他の悪性新生物、5位に肺の悪性新生物が入っている。また、骨折が3位に入っている。

表73 参考 平成27~31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類患者数増加順(65歳以上(国保・後期))

順位	疾病分類	平成27年度			平成31年度			増減				
		医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	増加率	患者数(人)	増加率	一人当たり医療費(円)
1	0402 糖尿病	8,804,866,360	146,163	60,240	9,588,227,422	160,892	59,594	783,361,062	8.9%	14,729	10.1%	-646
2	0903 その他の心疾患	14,029,568,805	149,811	93,648	17,407,431,589	161,841	107,559	3,377,862,784	24.1%	12,030	8.0%	13,910
3	0403 脂質異常症	5,985,515,804	133,856	44,716	5,306,405,287	144,953	36,608	-679,110,517	-11.3%	11,097	8.3%	-8,108
4	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,246,974,627	86,728	25,908	2,652,431,421	97,250	27,274	405,456,794	18.0%	10,522	12.1%	1,366
5	1302 関節症	7,989,865,569	114,564	69,742	8,324,243,814	124,516	66,853	334,378,245	4.2%	9,952	8.7%	-2,889
6	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	4,739,734,056	90,376	52,445	6,001,840,683	99,346	60,414	1,262,106,627	26.6%	8,970	9.9%	7,969
7	2106 その他の理由による保健サービスの利用者	1,108,028,167	78,052	14,196	1,057,406,640	86,869	12,172	-50,621,527	-4.6%	8,817	11.3%	-2,024
8	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	2,288,888,720	77,197	29,650	2,874,887,569	85,098	33,783	585,998,849	25.6%	7,901	10.2%	4,133
9	0901 高血圧性疾患	15,607,274,673	244,241	63,901	12,748,419,210	251,986	50,592	-2,858,855,463	-18.3%	7,745	3.2%	-13,309
10	1006 アンチギー性鼻炎	1,080,233,896	70,767	15,265	957,886,952	77,725	12,324	-122,346,946	-11.3%	6,958	9.8%	-2,941
11	1800 産状、産後及び異常臨床所見・異常検査所見で他に	5,469,618,374	152,088	35,964	5,320,516,145	159,039	33,454	-149,102,229	-2.7%	6,951	4.6%	-2,509
12	1402 腎不全	12,558,230,841	24,947	503,396	13,790,880,829	31,759	434,235	1,232,649,988	9.8%	6,812	27.3%	-69,161
13	0301 血管性及び詳細不明の認知症	2,738,635,454	11,002	248,922	2,389,484,453	17,720	134,847	-349,151,001	-12.7%	6,719	61.1%	-114,073
14	1113 その他の消化器系の疾患	11,666,460,017	218,464	53,402	12,977,711,582	224,705	57,754	1,311,251,565	11.2%	6,241	2.9%	4,352
15	0912 その他の循環器系の疾患	2,704,315,535	37,693	71,746	3,060,534,610	43,769	69,925	336,219,075	13.2%	6,076	16.1%	-1,821
16	0401 甲状腺疾患	859,138,216	44,714	19,214	956,490,040	50,723	18,857	97,351,824	11.3%	6,009	13.4%	-357
17	1309 骨の密度及び構造の障害	8,478,776,442	100,806	84,080	8,487,486,662	106,754	79,508	11,710,220	0.1%	5,948	5.9%	-4,573
18	1901 骨折	13,265,329,346	55,380	239,533	15,110,655,793	61,117	247,241	1,845,326,447	13.9%	5,737	10.4%	7,709
19	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障	1,171,588,328	23,188	50,324	1,255,559,565	28,405	44,202	84,001,237	7.2%	5,217	22.3%	-6,322
20	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	11,204,251,940	67,603	165,736	14,111,066,452	72,718	194,046	2,906,412,583	25.9%	5,115	7.6%	28,310

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月~令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳~99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグループングし算出。

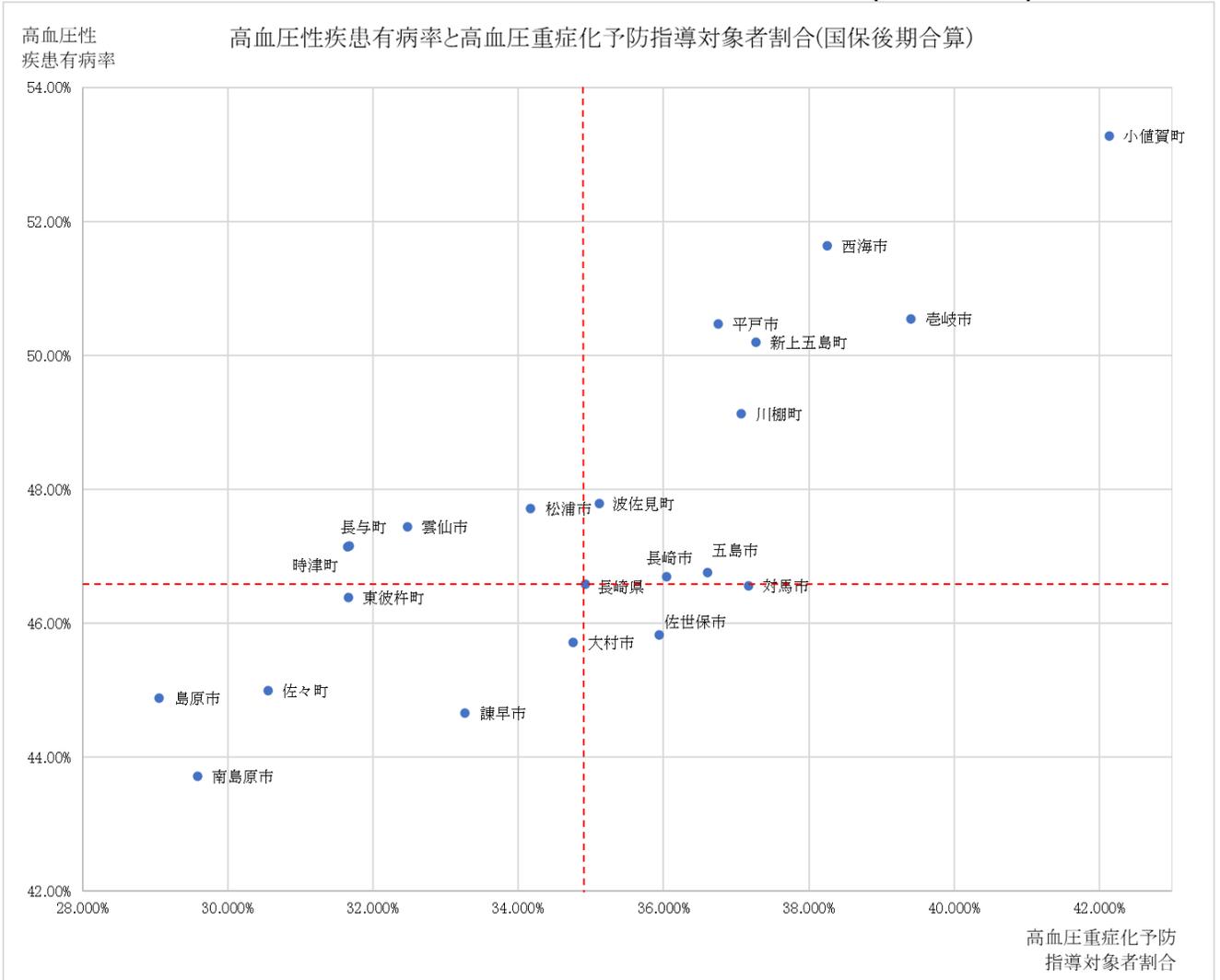
※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、合計人数は縦の合計と一致しない。

患者数増加上位で見ると、生活習慣病関連疾患では、1位に糖尿病、2位にその他の心疾患、3位に脂質異常症、9位に高血圧性疾患が入っている。また、ロコモティブシンドローム関連疾患の関節症が5位に入っている。

① 高血圧重症化予防指導対象者

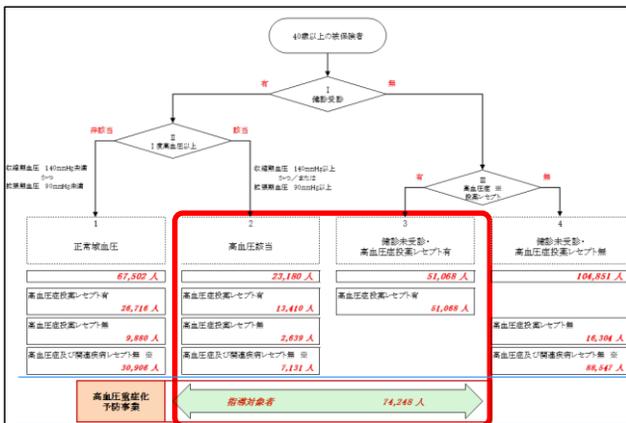
長崎県内市町の国民健康保険及び後期高齢者医療における、高血圧性疾患有病率と高血圧重症化予防指導対象者割合の状況は、以下のとおり。

図102 市町別の高血圧性疾患有病率と高血圧重症化予防指導対象者割合の状況(国保後期合算)



※高血圧重症化予防指導対象者割合・・・当該事業の指導対象者を被保険者数で除した値

再掲 図61 平成31年度 健診及びレセプトによる高血圧重症化予防指導対象者群分析

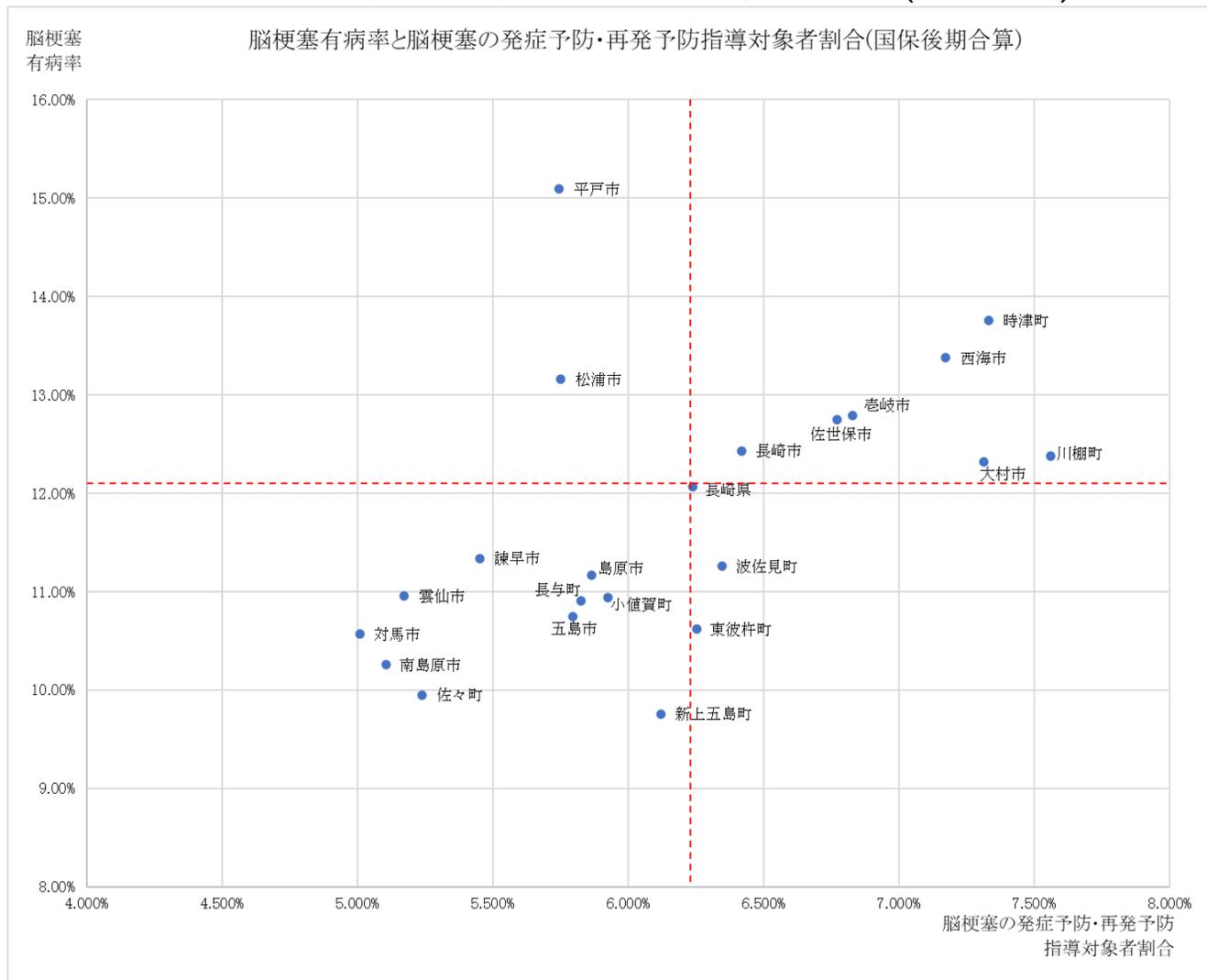


※左図はP73の図61の再掲である。詳細については、該当頁を参照。

②脳梗塞の発症予防・再発予防対象者

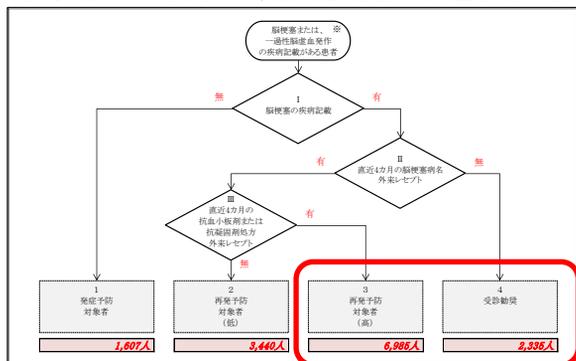
長崎県内市町の国民健康保険及び後期高齢者医療における、脳梗塞有病率と脳梗塞の発症予防・再発予防指導対象者割合の状況は、以下のとおり。

図103 市町別の脳梗塞有病率と脳梗塞の発症予防・再発予防指導対象者割合の状況(国保後期合算)



※脳梗塞の発症予防・再発予防指導対象者割合・・・当該事業の指導対象者を被保険者数で除した値

再掲 図63 平成31年度 脳梗塞の発症予防・再発予防対象者集団の特定

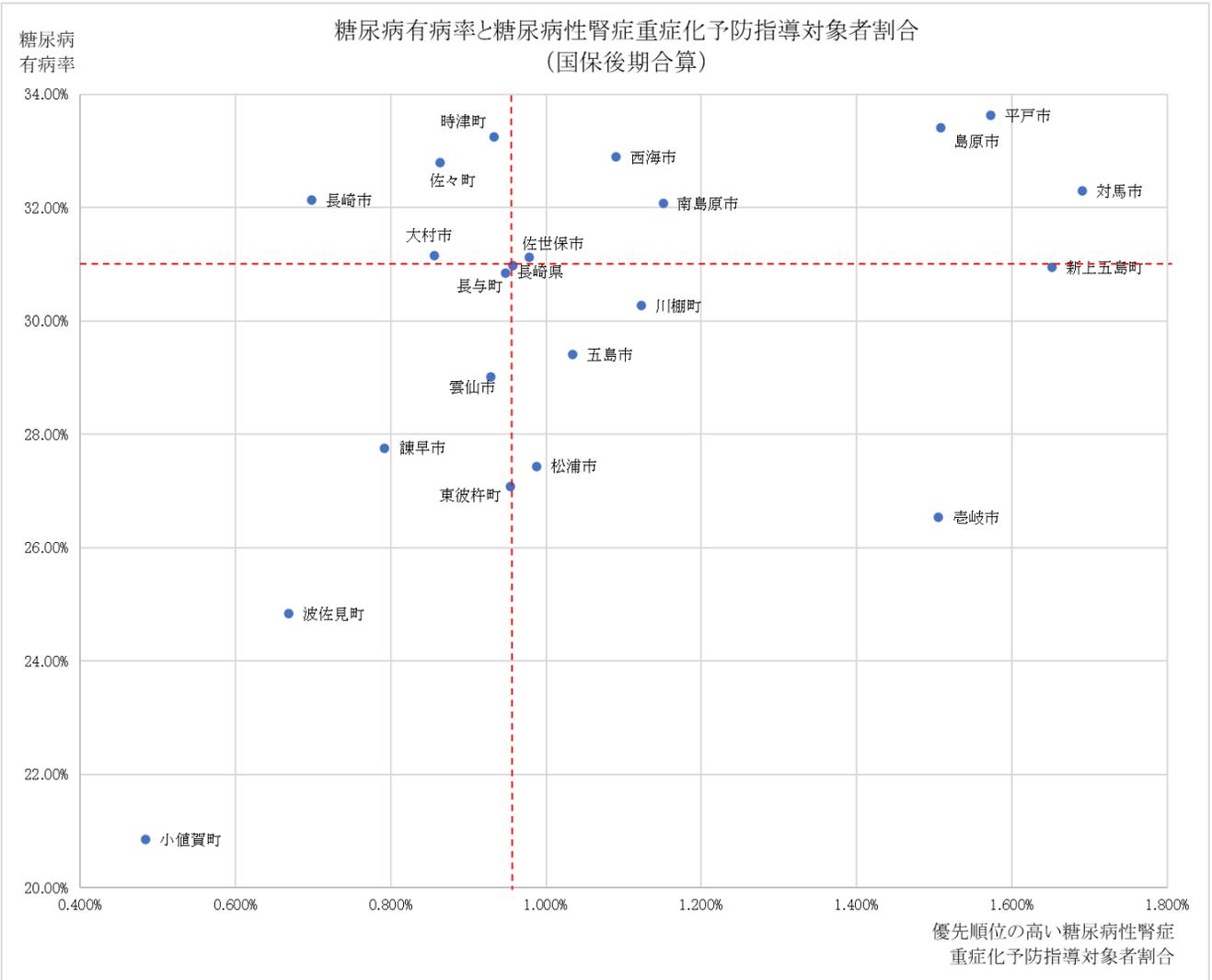


※左図はP79の図63の再掲である。詳細については、該当頁を参照。

③糖尿病性腎症重症化予防に向けた指導対象者集団

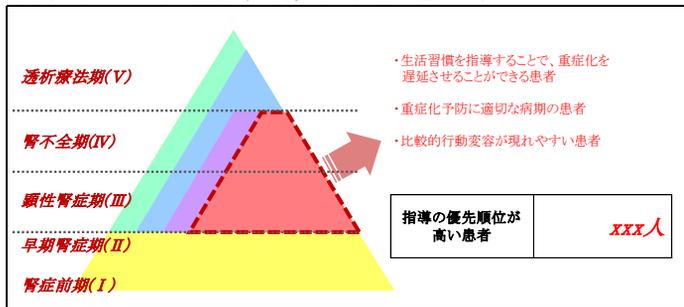
長崎県内市町の国民健康保険及び後期高齢者医療における糖尿病有病率と糖尿病性腎症重症化予防に向けた「優先順位の高い指導対象者割合の状況は、以下のとおり。

図104 市町別の糖尿病有病率と糖尿病性腎症重症化予防指導対象者割合の状況(国保後期合算)



※糖尿病性腎症重症化予防指導対象者割合・・・対象者を被保険者数で除した値

再掲 図66 保健指導対象者特定の全体像

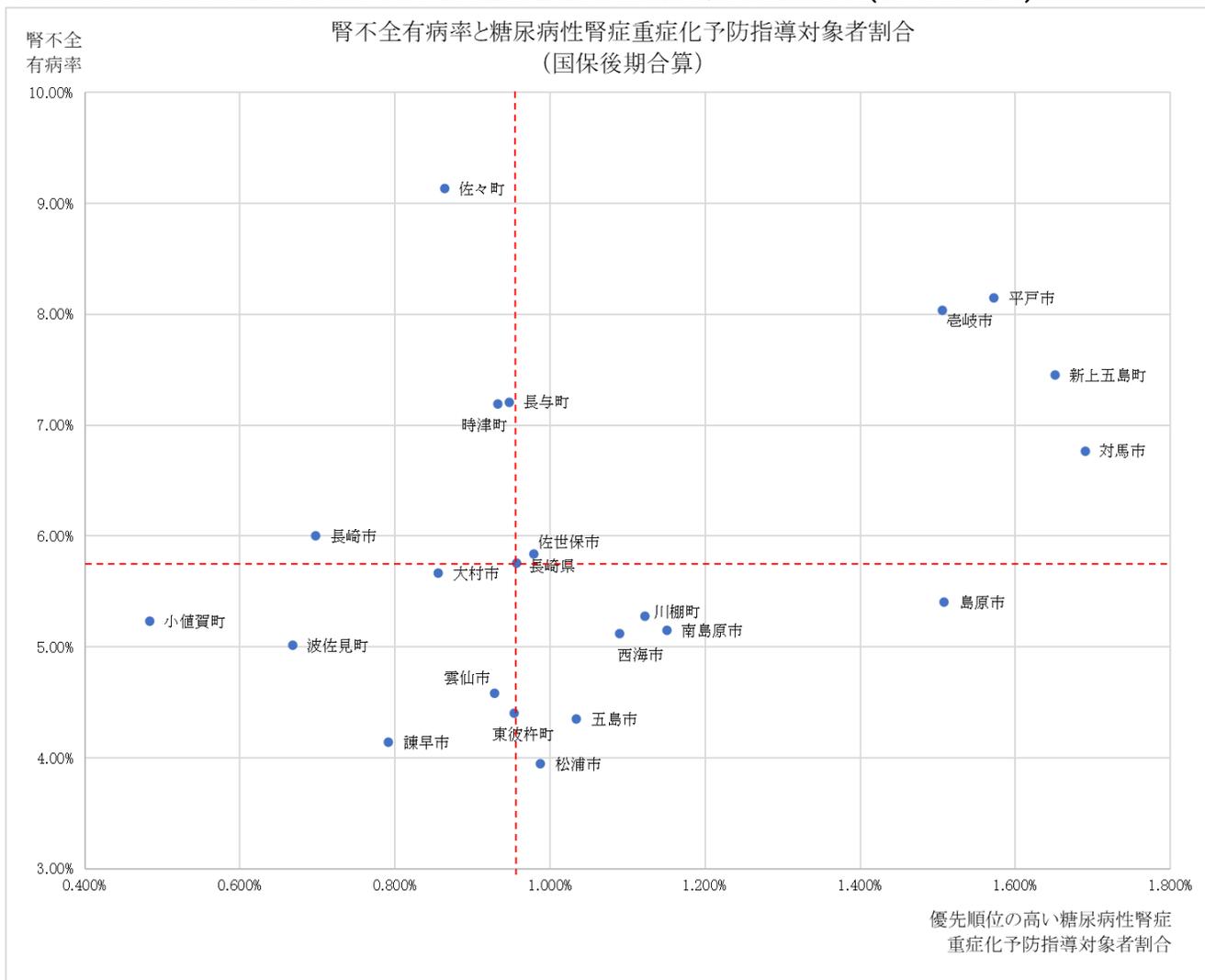


※左図はP86の図66の再掲である。
詳細については、該当頁を参照。

④糖尿病性腎症重症化予防に向けた指導対象者

長崎県内市町の国民健康保険及び後期高齢者医療における腎不全有病率と糖尿病性腎症重症化予防に向けた「優先順位の高い指導対象者割合」の状況は、以下のとおり。

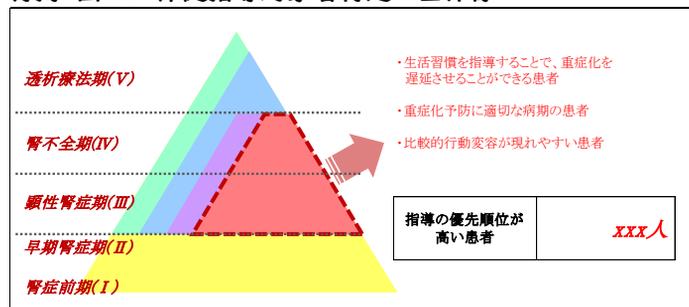
図105 市町別の腎不全有病率と糖尿病性腎症重症化予防指導対象者割合の状況(国保後期合算)



優先順位の高い糖尿病性腎症重症化予防指導対象者割合

※糖尿病性腎症重症化予防指導対象者割合・・・対象者を被保険者数で除した値

再掲 図66 保健指導対象者特定の全体像

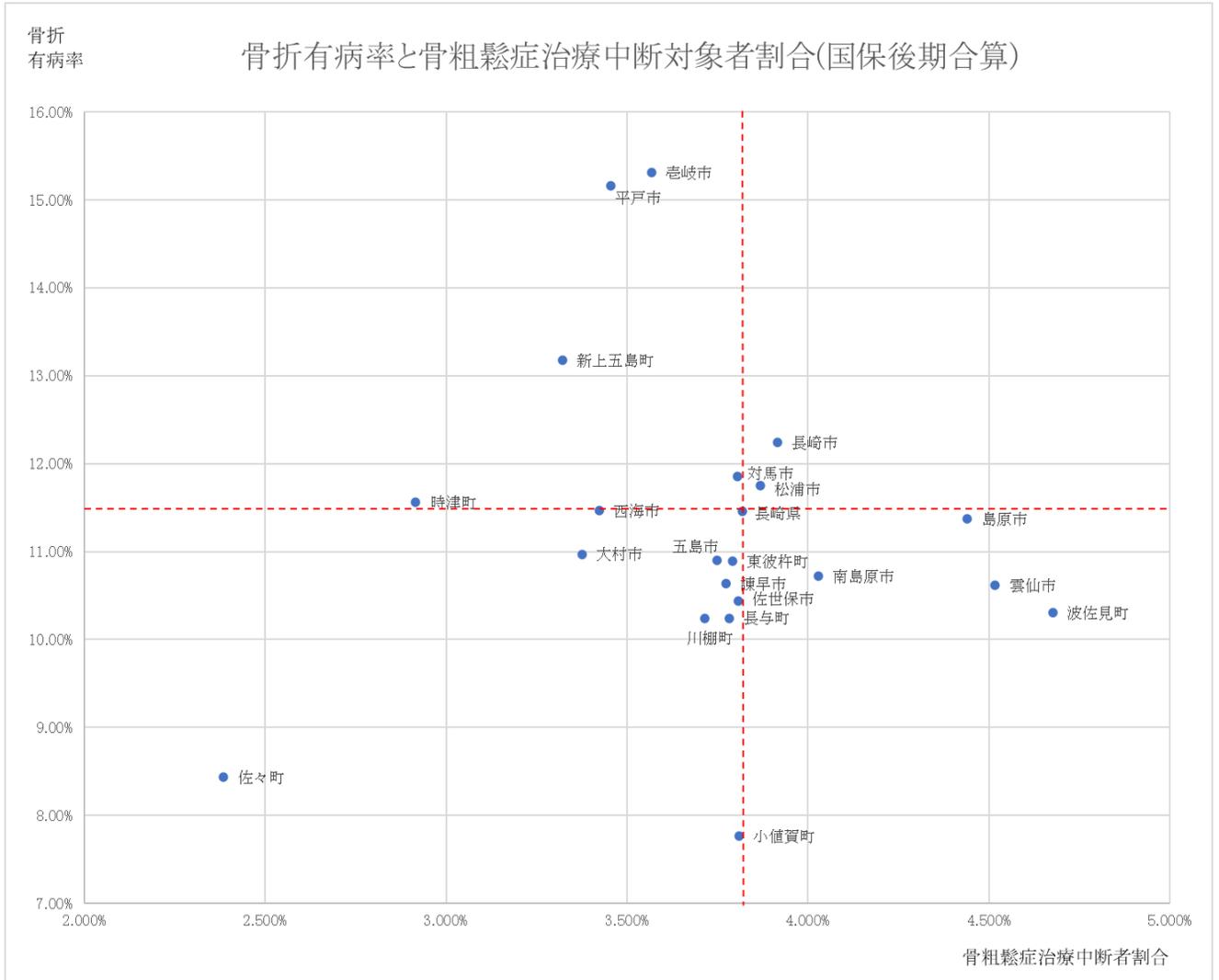


※左図はP86の図66の再掲である。詳細については、該当頁を参照。

⑤骨折予防(骨粗鬆症重症化予防)におけた指導対象者

長崎県内市町の国民健康保険及び後期高齢者医療における骨折有病率と骨折予防(骨粗鬆症重症化予防)におけた指導対象者割合の状況は、以下のとおり。

図106 市町別の骨折有病率と骨折予防(骨粗鬆症重症化予防)におけた指導対象者割合の状況(国保後期合算)



※骨粗鬆症治療中断者割合・・・当該対象者を被保険者数で除した値